

授業科目名	英語R・W	開講時期 1年次後期	単位数(時間) 1単位(30時間)	必修/選択 選択必修
担当教員名 廣渡太郎	担当教員所属/研究室 看護学部/2号館3階366研究室 hirowatari@rcakita.ac.jp		オフィスアワー 毎週水曜日 14:40~16:10 (予定)	
授業の 目的・目標	<p>目的 Basic English for Communication 2: 英語プレゼンテーションとライティングスキルの基礎力習得 情報収集のためのリーディングや自己表現のためのライティングは、国際社会での活動に欠かせないスキルである。 本講座では、前期に培った英語力に磨きをかけるリスニングとスピーキングの演習に加え、プレゼンテーションの原稿作成と発表スキルの基礎訓練を行う。同時に、グループ単位で行うプレゼンおよびジャーナルライティングにも挑戦し、英語でのコミュニケーションに必要な基本スキルの養成と強化をめざす。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> -Students should demonstrate ability to communicate meaningful, purposeful messages -Students should demonstrate awareness of linguistic and organizational features of the text. -Students should demonstrate ability to approach and perform tasks in a logical manner. -Students should demonstrate ability to make a presentation on a researched topic. 			
主な授業内容(担当教員)				
<p>授業は、テキストによる“会話演習”“語彙習得”“文法理解”、および、毎回授業の始めに実施するリスニングの小テストで構成される。同時に、課外ではグループ単位でジャーナルライティングを行い、継続して英語で自己表現するための基礎力を養う。</p> <p>第01回: CLASS GUIDANCE クラスガイダンス</p> <p>第02回: The heart of Japanese language One Piece & Kimini Todoke</p> <p>第03回: Self-introduction Speech 1 Introduce yourself in a confident, interesting manner</p> <p>第04回: Self-introduction Speech 2 Give a self-introduction speech in front of the class</p> <p>第05回: Presentation Skills 1 Presentation Structure</p> <p>第06回: Presentation Skills 2 Introduction</p> <p>第07回: Presentation Skills 3 Introduction & Body</p> <p>第08回: Special Lesson “High School Musical” Part I</p> <p>第09回: Special Lesson “High School Musical” Part II</p> <p>第10回: Presentation Skills 4 Body</p> <p>第11回: Presentation Skills 5 Conclusion</p> <p>第12回: Holiday Season Special Lesson “A Charlie Brown Christmas”</p> <p>第13回: Review 復習</p> <p>第14回: Presentation プレゼンテーション</p> <p>第15回: Presentation プレゼンテーション</p>				
成績評価方法	出席点(授業への参加度を含む)30%、平常点(課題提出・積極性、リスニング小テスト等)40%、学期末に行うプレゼンテーションの成績30%による総合評価。			
テキスト	別途指示する。			
参考文献	授業時に指示する。			
履修にあたっての留意点	英語力の養成は継続して学習することが大前提である。したがって、遅刻・欠席は出席点減点の対象となり、欠席回数が履修規定を越えた受講生は、事由の如何に関わらず「D」の成績評価となるので注意すること。 毎回の授業時に必ず英和辞書(電子辞書可)を持参すること。携帯電話やスマートフォンを辞書の代用とすることは認めない。			
備考				